



お江戸松愛

2023年3月 第76号

松愛会 東京都支部
発行人 志村 孝子
編集人 加藤 修

パナソニック松愛会 東京都支部 支部報 <http://www.shoai.ne.jp/tokyo/>

2023年1月31日現在 支部会員数 776名

2023年新春懇親会を開催しました



1月7日(土)に2023年新春懇親会を首都圏支部と合同でパナソニックセンター東京において開催しました。今年、松愛会設立50周年の節目にあたるため「支部の垣根を超えた行事」として実施し、横浜・静岡支部からの参加者も合わせ107名の会になりました。

関首都圏支部長の開会挨拶の後、松本会長と会社代表の藤原渉外本部長からご挨拶をいただきました。

松本会長からは、「松愛会は昨年11月に設立50周年を迎え、本部および各支部において全員参加の行事や、支部の垣根を超えた行事など様々な記念行事が開催され、大いに盛り上がった。Buy Panasonic は今年1月が締め切りなので、是非皆さんのご協力をお願いしたい。」との話があり、続いて藤原本部長からはパナソニックの経営概況の紹介と「2025年開催の大阪万博」にパナソニックとして参加するので、松愛会の皆さんも是非見学してほしい。」との話がありました。

続いて講演会に移り、2022年4月に8番目の事業会社として設立されたパナソニックスポーツ株式会社の佐々木副社長から会社の概況説明がありました。「サッカー、ラグビー、バレーボール、野球ならびに女子陸上各チームを中心とした

街づくり、教育支援とパナソニックの技術を生かした取り組みでスポーツの価値を高め、その価値を実現していきたい。」との力強い紹介がありました。

その後、野口副会長のご発声で乾杯をし、和やかな歓談に移りました。コロナ感染防止のため今回も着席黙食ではありませんでしたが、久しぶりに会う方々も多く、笑顔あふれる歓談となりました。



また、最後に行いました各関係会社からご提供いただいた景品が参加者全員にあたる「お楽しみ大抽選会」では参加者皆さん大いに盛り上がり、新年にふさわしい和やかで楽しい会となりました。

中締めは、志村東京都支部長が行い、新春懇親会らしい華やかな関東一本締めでお開きとなりました。

(報告:古川、写真:下、加藤)



支部だより (みちくさ会のご報告)

第158回「元祖山手七福神巡り」

・とき:1月4日(水)
・コース:目黒駅→大圓寺(大黒天)→瀧泉寺(恵比寿神)→蟠竜寺(弁財天)→妙円寺(福祿寿・寿老人)→瑞聖寺(布袋尊)→覚林寺(毘沙門天)

今年のみちくさ会は「元祖山手七福神」からスタートいたしました。当日は天候に恵まれ29名(初参加者3組4名)の方にご参加いただきました。

江戸時代に始まった七福神巡り、こちらは歴史が古く「元祖七福神」と言われています。

冒頭に志村支部長からの新年挨拶でスタート。

最初に訪れた大圓寺は、江戸城の裏鬼門(南西)にあり、鬼門(東北)にある上の寛永寺と対になって江戸を守っているそうです。

目黒川を渡る際にはパナソニックの事業場の話題に花が咲きました。春になれば桜並木が満開となる目黒川は東京の新名所になっています。

龍泉寺は目黒不動として大変有名な寺院でかなり込み合っており、恵比寿様を参拝するにも大行列でした。こちらの境内にて全員で記念撮影。途中、大鳥神社で休憩後、目白通りののだらだらと続く上り坂を進みました。妙円寺で福祿寿と寿老人を、瑞聖寺では布袋尊を参拝しました。

最後の覚林寺は戦国武将の加藤清正の位牌や像が祀られていることから地元の方々からは清正公と言われてい



ます。ここで最後の記念撮影です。約7キロを2時間ほどで巡り最後に首都圏支部 関支部長より御礼のご挨拶をして解散となりました。